

石川県輪島漆芸美術館 友の会だより



第 8 4 号 2018(平成30)年8月30日発行



石川県輪島漆芸美術館友の会秋季研修旅行のご案内 ～大阪の美術館・博物館をめぐる旅～



- ◆期 日 2018年(平成30年)10月24日(水)～26日(金) 2泊3日
- ◆定 員 35名
- ◆参加資格 当館友の会会員であること(申込みと同時入会可)
- ◆参加費 53,000円
- ◆宿泊先 ハートンホテル南船場(大阪市中央区南船場) 2泊(ツイン利用)
※シングルをご希望の方は参加費が2泊で2,800円割り増しになります。
- ◆締め切り 9月20日(木)まで (ただし、定員に達し次第締め切ります。)
10月3日(水)以降にキャンセルされた場合、旅行業約款に準じてキャンセル料をいただくことがあります。
- ◆その他 参加申込者には、10月10日(水)頃に案内をお送りします。
- ◆申込み先 石川県輪島漆芸美術館友の会事務局
TEL : 0768-22-9788 FAX : 0768-22-9789 E-mail : urushiart@ca1.wannet.jp



◆研修日程

1 日 目	10月24日 (水)	漆芸美術館 —— 金沢森本IC —— 豊中IC —— 昼食(和定食) ----- 6:10集合/6:30出発 8:30 12:30 ~ 13:20
		あべのハルカス美術館 ---- あべのハルカス展望 —— 大阪市立美術館 —— 13:30 ~ 15:10 15:30~17:00
		ホテル ----- 夕食(中華)心齋橋にて懇親会 17:30/17:50 18:00 ~ 19:30
2 日 目	10月25日 (木)	ホテル —— 大阪市立東洋陶磁美術館 —— 大阪日本民芸館 ---- 昼食(ヴェュッフエ) 9:00 9:30 ~ 10:30 10:40~11:40 12:00~13:00
		国立民族学博物館 -- 太陽の塔&EXPO70パビリオン常設展見学 = ホテル ※夕食は各自 13:10~14:10 14:20 ~ 15:00 16:00
3 日 目	10月26日 (金)	ホテル —— 大阪府立弥生文化博物館 —— 堺市博物館 —— 昼食(たこ焼き御膳) 8:50 9:30 ~ 10:30 11:00~12:00 12:20~13:10
		吹田IC —— 門真JCT —— 瀬田東IC —— 金沢森本IC —— 漆芸美術館 17:40 19:40頃

※予定は変更になる場合があります。

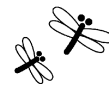


友の会の研修旅行では初めての大阪です。
内容もりだくさん!
お申込みお待ちしております!!

お問い合わせ先
石川県輪島漆芸美術館友の会事務局
TEL 0768-22-9788



見学先のご紹介



あべのハルカス美術館

「太陽の塔」展



高さ日本一のあべのハルカス地上 16 階にあり、"あらゆるアートをあらゆる人に"をコンセプトにした、世界中の芸術・文化作品が楽しめる都市型美術館。

本展覧会では、太陽の塔の失われた展示空間を初めて 3 次元で再現されます。岡本太郎がテーマ館全体の根源を表現した地下展示を迫体験できる内容になっています。

大阪市立美術館

特別展 ルーヴル美術館展 肖像芸術-人は人をどう表現してきたか



1936（昭和 11）年に開館した歴史と伝統のある美術館。館内は設立当初の本館と、後に新設した地下展示室と合わせて地上 3 階・地下 2 階からなっています。

本展覧会では、ルーヴル美術館が誇る膨大なコレクション 8 部門から厳選された、古代から 19 世紀までの"肖像"をテーマにした作品約 110 点が出品されます。

大阪市立東洋陶磁美術館

特別展 「高麗青磁-ヒスイのきらめき」



世界的に有名な「安宅コレクション」を住友グループ 21 社から寄贈されたことを記念して、大阪市が設立。

所蔵する高麗青磁を中心に国内所蔵の代表作も加えた約 250 件の作品により、高麗青磁の新たな魅力を紹介いたします。東洋陶磁美術館としては、約 30 年ぶりに満を持して開催する高麗青磁の一大特別展となります。

大阪日本民芸館



万博終了後、展示館の建物を引き継いで、柳宗悦の提唱した「民藝運動」の西の拠点として開館され、陶磁器や染織品、編組品、木漆工品、絵画など国内外各地の優れた工芸品を展示しています。万博記念公園内の「平和のバラ園」や「日本庭園」「国立民族学博物館」など文化施設が集中したエリアに位置し、春季と秋季に、年 2 回の特別展を開催しており、記念講演も行っています。

国立民族学博物館

特別展「工芸伝承-東北発、 日本インダストリアルデザインの原点と現在」



文化人類学・民族学に関する研究所と、その成果を収集・公開する博物館機能を併せもつ国立民族学博物館。

「みんぱく」として親しまれ、様々な民族の生活文化を展示紹介します。

本展覧会では、世界に誇る日本の伝統工芸品に注目しています。

太陽の塔



太陽の塔は、芸術家の岡本太郎氏が制作した芸術作品であり建造物。

万博のテーマ館の一部として建造されましたが、万博終了後も引き続き万博記念公園に残され、万博のシンボルとなっています。塔の内部にも展示空間があり、万博終了後は原則非公開でしたが今年 3 月から公開されています。内部見学は予約制となっており、今回は予約がとれなかったため外観のみ見学し、その後「EXPO'70 パビリオン」常設展を見学します。

堺市博物館

特別展 土佐 光吉 -戦国の世を生きたやまと絵師-



堺市の歴史、美術、考古、民俗に関する博物館として、多くの資料を収集、保存、展示しています。

本展覧会では、武将たちが天下統一をめざして戦乱を繰り返した 16 世紀後期から 17 世紀初期、堺で「やまと絵」を描いた土佐光吉の画業を紹介します。

大阪府立弥生文化博物館

秋季特別展 発見！古代エジプト -7つのひみつと最新エジプト研究-



弥生文化に関する資料と情報を収集・保存・研究・展示し、地元の遺跡にとどまらず、弥生文化全般を広く対象とする全国で唯一の博物館です。

本展覧会では、古代オリエント博物館の協力のもと、国内の古代エジプト資料を紹介します。